

スタートアップ企業の成長支援について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、経済産業省

「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」のグローバル拠点都市として、スタートアップ企業の創出・成長を加速化するため、以下について支援いただきたい。

- 「大学発新産業創出プログラム（大学・エコシステム推進型）」
等でアントレプレナーシップ教育を受けた研究者・学生等による起業に向けた取組を支援するため、研究シーズの事業化を支援するGAPファンド事業等に充当できる十分な予算の確保
- 日本版SBIR制度による各省施策やデジタル庁に係る産業施策において、グローバル拠点都市内のスタートアップ企業が優先的に取り扱われる仕組みの構築と十分な予算の確保

【現状・課題等】

- 「官民イノベーションプログラム」により交付された国立大学への特別運営費交付金が、第4期中期目標期間（令和4年度～令和9年度）へ繰り越すことができないこと、拠点都市を対象とした「大学発新産業創出プログラム 大学・エコシステム推進型」により実施できるGAPファンド事業の規模が京阪神で年4件程度であることから、京都大学において、当該交付金を財源に実施してきたGAPファンド事業（基礎研究の事業化に向けた資金支援、年間10～20件程度採択）の同規模での継続が困難となっている。
- 新SBIR制度が令和3年度から施行されたが、各事業における事業者採択に当たって拠点都市内のスタートアップ企業が優遇される制度にはなっていない。
また、SBIR制度参画対象に新設のデジタル庁も追加し、大企業のみならず斬新な発想と機動力を兼ね備えるスタートアップ企業がデジタル社会形成に当たり十分に活躍できる仕組みづくりが重要

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 ものづくり振興課 (075-414-5103)
---------------	---------------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔文部科学省〕

- ▶ 大学発新産業創出プログラム（大学・エコシステム推進型） 24.8 億円
(令和3年度予算 6.7 億円)

○スタートアップ・エコシステム拠点都市において、自治体・産業界等と連携し、大学等における実践的なアントレプレナーシップ教育や、GAPファンド、ネットワーク強化等の総合的な環境整備を支援する事業

○令和3年度から令和7年度までの5年間、全国4拠点に約1億円/年を交付

■官民イノベーションプログラム〔文部科学省〕

- ▶ 平成24年度に、東北大学、東京大学、京都大学、大阪大学に対し、政府出資金及び特別運営費交付金を交付し、官民共同の研究開発を推進
- ▶ GAPファンド事業やインキュベーションプログラム等に活用できる特別運営費交付金（上記4大学計200億円、うち京都大学58億円）は、第3期中期目標期間（平成28年度～令和3年度）までの予算繰越が可能となっている。

■中小企業技術革新制度（日本版SBIR制度）の見直し〔内閣府・経済産業省〕

- ▶ 中小企業等に対し、研究開発に関する国の補助金・委託費等の支出機会の増大を図るとともに、その成果の事業化を支援する省庁横断的な制度
- ▶ 令和2年6月に、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律が一部改正され、令和3年4月から新制度が施行
- ▶ 令和3年度は9府省（内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省）が参加

【京都府の取組】

■起業するなら京都・プロジェクト推進事業 140 百万円

- ▶ スタートアップ創出から成長発展までステージに応じた支援を、国や京阪神で連携しながらオール京都で体系的に実施